

囲碁入門講座通信 令和3年 第33号

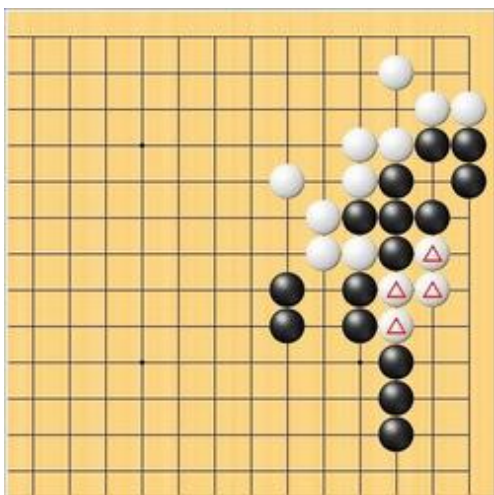


報告:有楽斎

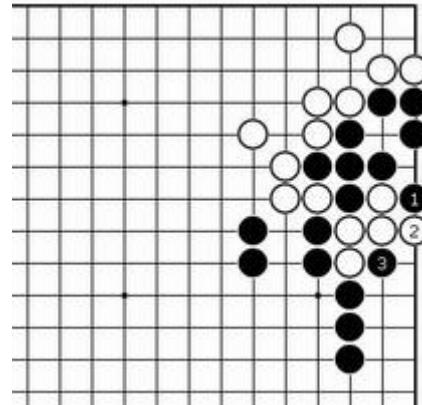
毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。
(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に詰碁の練習問題を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)
あっと驚く“魔法の手筋”を実戦で使いこなすために・・・

手筋問題5 黒番 白石△4子を取ってください。



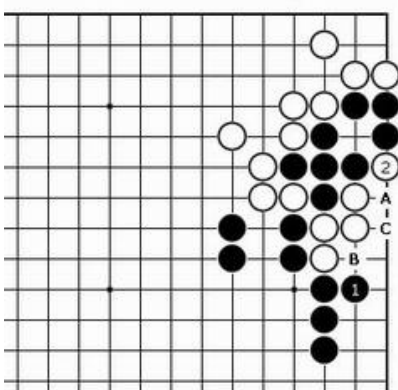
ヒント 黒1からのコウしかない、とあきらめないでください。これぞ手筋という感じの手があります。



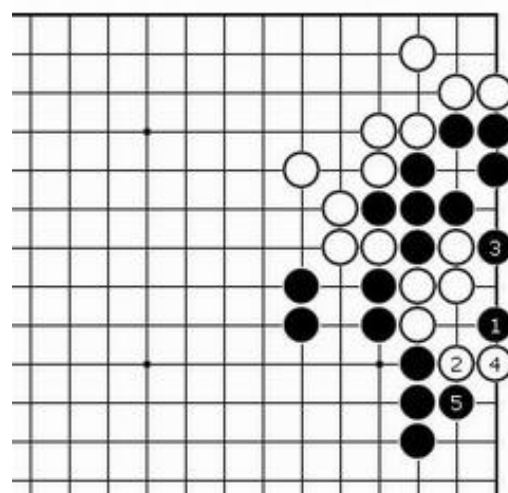
正解と解説

問題5 正解図1

問題5 失敗図



黒1、白A、黒Bで取れると思うのは早合点。白2と打たれ、黒A、白C、黒B、白2の順でコウになります。白2の手筋は実戦でよくありますので、ひと目でわかるようにしてください。



正解図 黒1のオキが何とも味わい深い手筋ですね。実戦で打てたら立派な有段者です。白2には黒3。白は3の下にオサエられないのがミソです。白4には黒5まで、無条件で勝っています。